

## 姿勢矯正研究会・セミナー報告

2014年9月21日(日)の姿勢矯正研究会 場所:京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)

参加者:西本先生・山口先生・東岡先生・矢田先生・田中先生・東先生・谷口先生・辻内の8名

今回のテーマ:小胸筋のアイソメトリック(西本会長)

質疑応答・カンファレンス・不調者の治療・意見交換等を行いました。

いつも通り盛りだくさんの内容で、しかも役に立つことばかり! 凄く勉強になりました。



2014年7月13日(日)の姿勢矯正研究会 場所:京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)

参加者:西本先生・山口先生・東岡先生・矢田先生・田中先生・

谷口先生(午後から)・東先生(午前中のみ)・辻内の8名



今回から新コーナー誕生! 体調の優れない会員の先生方を治す取り組みを実施。



今回の研究会では各会員が姿勢矯正のテクニックを進化させていたり、本当にテクニックが効果的なのかそのメカニズムを吟味し、本質に迫る様子がうかがえた。日頃の研究が顕著に表れた研究会となった。また姿勢矯正士資格を目指し西本先生の下で毎日勉強されている東さん(静岡県)が初参加。緊張した様子で真剣に学ばれておられた。

午後からはローテーターカフ、腹筋と腹部大動脈の関連について、関節の使い方、伸張反射と骨盤傾斜などの話題が提案され学習を深めた。その他 Web 関連テーマである相互リンク、Line 登録、スマホページなどについても情報交換を行い充実した研修会が終了した。



腹筋と腹部動脈の関連について指導する(山口先生)

**2014年5月18日(日)の姿勢矯正研究会** 場所: 京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)

参加者: 西本会長・東岡先生・富樫先生・田中先生・谷口先生・辻内の6名



今回は辻内が提示した臨床例をみんなでカンファレンスと思いきやいきなりお互いの不調症状を施術し合う展開となった。

辻内は富樫先生や西本先生、東岡先生に施術をを行った。また西本先生に施術していただいた。



一段落してからカンファレンスを実施。



あらゆる角度から適確な意見が出た。

カンファレンスの後、西本先生からはモーションパルペーションの精度を高めるご指導をいただくとともに引き続き参加者の不調を治療して下さった。また質問も多く出された。



(つなぐ整体院ブログより転載)

アゴをつきだした姿勢がラク 猫背なのはわかっている  
太ってないのにお腹だけ出てる 前屈するとカラダが固い

といった脱力感満載の男子達のことを田中先生は「脱力系男子」と名付けている。

この姿勢への治し方について田中先生から質問が出て辻内が回答した。

また「膝関節の痛み」の緩和方法についての質問には富樫先生が回答しつつテクニックを披露。



谷口先生からは広背筋の働きと腰椎の関わりについての質問には西本先生が回答。  
谷口先生からは痛みの緩和には動かしながら改善をはかったという事例の紹介やクラブの生徒・保護者を対象に「姿勢について」講演会を行ったという報告があった。

また、「仙腸関節の操作がハムストリングに影響するかどうか」という興味ある検証も行った。



今回も刺激的な姿勢矯正研究会となった。

**2014年3月23日(日)の姿勢矯正研究会** 場所: 京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)

参加者: 西本会長・山口先生・七里先生・東岡先生・矢田先生・田中先生・谷口先生・辻内の8名



今回は本協会が将来に向けて大きく羽ばたいていくために会員のレベルを上げる必要を感じ、更に精度の高い姿勢矯正理論と技能を指導したいという西本会長の熱い思いが溢れる研究会となった。

西本会長は以下の項目について詳細な要諦を述べられた。

- ・姿勢矯正中のトーク内容の重要性

・最も効率よく姿勢矯正をするには・姿勢矯正士の将来進むべき道・姿勢矯正の重要性 他



問題提起を行う西本会長

問題提起された内容についての質疑応答を行い、姿勢矯正士協会の在り方についても様々な角度から率直な意見交換を行った。その結果、将来進むべき方向性も明確になり有意義な研究会となった。



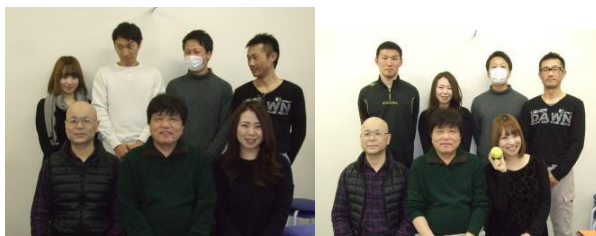
熱く真剣に論議し研究しあう

後午後からは、山口先生が「進化した頸椎の矯正方法」を披露された。

これはかねてから会員が強く待ち望んでいたもの。全員で熱心に実習と検証を行った。その後、いつものようにお互いが不調症状を改善しあったり、また日頃の疑問点に対して質疑応答を行いながら熱く、充実した研究会は5時に終了した。気がつけば終了予定時間を1時間オーバーしていた。終了後、西本会長は「久しぶりに燃えてきたぞ！」と感想を漏らされたことが印象に残った。

**2014年1月19日(日)の姿勢矯正研究会** 場所:京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)

参加者:西本会長・濱田先生・七里先生・東岡先生・矢田先生・田中先生・谷口先生・辻内の8名



西本会長から、「今年はチェンジの年にしたい！日本姿勢矯正士協会をメジャーにするために取り組んでいこう！」と年頭のご挨拶。

参加者がそれぞれ抱負を語った後、早速本日のテーマに。

テレビで紹介されて話題になっている「あべこべ体操」のメカニズムを考えてみようというのが今回のテーマ。実際に体験してみることになった。



その後、実解剖学的、神経生理学的な視点など様々な角度から検証し意見交換を行った。

濱田先生からは FFD が変化する面白いアプローチが紹介された。

辻内からは機能を阻害している特定の筋がある場合に原因を瞬時に取り除くことが可能なテクニックの一例を紹介してみた。しかし症状の治療にはあくまでも姿勢矯正理論に基づいた正確でピンポイントで行う施術は欠かせない。このことを強調しておいた。

また、濱田先生からは偏平足、外反母趾の方に対しての正しいエクササイズやアーチを作ったり、足底腱膜炎などを回避するテーピング法を指導していただいた。



午後から合流した谷口先生は筋肉の強化トレーニング法や姿勢と筋肉の関係などを熱心に質疑応答。明日から大変役に立つ有意義な姿勢教育研究会は終了した。

今回欠席された山口先生からは頸椎に対する新しいアプローチ法をお聞きしたいとみんな期待していましたが、欠席されたので残念でした。山口先生、またの機会に是非ご指導お願いしたいと思います。

**2013年11月17日(日)の姿勢矯正研究会** 場所: 京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)

参加者: 西本会長・山口先生・七里先生・東岡先生・矢田先生・富樫先生・田中先生・谷口先生・辻内の9名



午前中は西本会長によるモーションパルペーションとチェスター・ドロップの精度アップのためのデモと、ドケルバン病(狭窄性腱鞘炎)が橈尺関節の回外不全に関わっているかどうかの検証。

午後からは特許等について審議しました。

それから各自3台の治療ベッドに分かれて、質疑応答や会員の先生のケアを行いました。



顎関節症に対するアプローチと膝関節がポキポキ鳴る症状改善の試みや側臥位から下肢帯の筋肉への効果的なアプローチ方法、股関節のトラブルに対する施術など熱心に研究しました。

本部のスクールから田中先生・谷口先生が特別参加しました。

**2013年9月22日(日)姿勢矯正研究会** 場所:京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)

参加者:西本会長・山口先生・七里先生・藤尾先生・東岡先生・矢田先生・富樫先生・辻内の計8名



まず最初に東京支部の富樫先生からビューティ専門誌「美ST」に掲載された経緯が話された。

覆面調査隊により堂々の第一位と認定されたことは素晴らしいことであるし、私たち日本姿勢矯正士協会としても誇らしく思う次第である。



本日のテーマ「モーションパルペーションの精度をアップ」。

西本会長が精度アップのための注意点を詳しく説明しながら指導して下さった。内容は日頃の臨床で役に立つ知識とテクニックであった。今回もお互いの身体を施術し合いながら、モーションパルペーションのスキルアップを行った。昼食後、将来を見据え、協会組織充実のため論議がなされた。

2013年7月21日(日)姿勢矯正研究会 京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)  
参加者:西本会長・山口先生・七里先生・橋本先生・東岡先生・矢田先生・富樫先生・辻内の計8名



### 内容

各会員の先生が提示した姿勢の写真を使って、治し方や上手くいかなかった事例などをカンファレンス。  
猫背治療には腹斜筋をどう操作すればよいかなども研究し合った。



ランチはいつもの中華料理桂心で…



午後からは、ギックリ腰の後遺症に悩む橋本先生が参加。  
手ぐすね引いて待っていた姿勢矯正士の治療で症状はすぐになくなった。



次に西本先生が不調の先生方を次々とニューテクニックで治療。  
私(辻内)はうずいていた股関節と膝の痛みを治療していただきました。とても調子が良くなっています。





終盤に入り、西本先生の膝が昨日から少し鳴り出したので、これを改善することにもチャレンジ。しかし難しい。膝が鳴らない様にするには、どうすればいいのか？メカニズムとテクニックの開発を勉強が次回までの課題となった。

また、和歌山支部の研究会報告及びニューテクニックの紹介実施(辻内)



**2013年5月19日姿勢矯正研究会** 場所:京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)

参加者:西本先生・山口先生・七里先生・濱田先生・東岡先生・橋本先生・矢田先生・富樫先生・河原先生・佐野先生・辻内の11名



内容(以下西本先生のブログより転載)

日本姿勢矯正士協会和歌山支部の姿勢矯正研究会の開催の報告肩こりの根本治療を考えるについて。



辻内先生の得意な省エネ療法について。濱田先生から蹲踞、四股踏みを毎日している訳について西本からは、腸腰筋の強力ストレッチと私のL5～S1間のハイパー治療グッズを披露。

山口先生が出版した電子書籍「Posture Reform」について。  
将来東京で姿勢矯正セミナー開催について(富樫先生に協力依頼)  
七里先生から仙腸関節にもハイパーが起こるのか?の質問



その後、専ら集客方法に議題が集中する。あっという間に、6時間の姿勢矯正研究会は終了。

2013年3月度姿勢矯正研究会 3月17日(日)

場所: 京都にしもと整体院(日本姿勢矯正士協会本部)

参加者: 西本先生・山口先生・七里先生・東岡先生・藤尾先生・滝本先生・矢田先生・富樫先生・辻内の9名



内容

「上肢帯まわし」の披露(西本伸会長)

「肩甲骨剥離」+「前鋸筋のストレッチ」+「鎖骨のモビリゼーション」を同時に行なったようなもの。

患者さんに「肩甲骨の隙間が開いて、風が入る感じがする」と言わしめたテクニックでもある。

「肩甲骨剥離」+「前鋸筋のストレッチ」を行って「肩甲骨剥離」+「鎖骨のモビリゼーション」を次に行ってはどうかと…言う意見も出た。次に姿勢矯正スケール問診票(姿勢カイロ・オフィス院長 辻内正昭)

実際に姿勢矯正スケール問診票の成果について報告があった。

数値としても大きく減少していく様子が見て取れた。

記入欄の「ない・まれに・時々・しばしば・いつも」の表現について改善策も出された。

例えば、頭痛の場合は、痛みの強さと痛みの頻度に分けると解り易いのではなど。次回の宿題でもある。



午後からは「トラス構造を応用した操作法のデモンストレーションとレーション」(姿勢カイロオフィス院長 辻内正昭)省エネテクニックの原理:力の弱い人でも出来るトラス原理をデモンストレーションしました。

その後は質疑応答の時間。



各自解らない事を先輩の先生方に積極的に質問。



特に集客方法に話題が行った。パソコンやチラシ作成等に長けている山口先生に質問が集中。4時の終了時間も大きく上回りPM5:00までの延長となった。

#### 2013年1月度姿勢矯正研究会

○客観的数値により姿勢改善が証明できる日本姿勢矯正士協会専用スケール問診表について  
(西本会長が新井医師のアドバイス提案を提示)

○新テクニック提案とカンファレンス

進化系「肋骨モビリ」の臨床

(姿勢カイロ・オフィス院長 辻内正昭)

内容は以下の通り。西本会長のブログより転載しました。

姿勢矯正士の西本です。

1月20日(日)の姿勢矯正研究会 時間:10:00~16:00 場所:京都にしもと整体院

参加者

山口先生・辻内先生・七里先生・濱田先生・東岡先生・滝本先生・藤尾先生・矢田先生・久保上先生・河原先生・佐野先生・西本の12名



午前は私からスケール問診表についての説明

次回の姿勢矯正研究会までに構想を練ってくる様に依頼しました。

その後、辻内先生より、強烈な猫背を緩める方法として、外腹斜筋・内腹斜筋・上後鋸筋  
下後鋸筋のストレッチ法の披露がありました。



このテクニックは視点を変えるという点で、素晴らしいテクニックであった。

ちょっと「目から鱗」の感がある。

午後からは、私から座位による前鋸筋と腰腸肋筋を肋骨からのアプローチによるアイソメトリック法を披露  
しました。



その後、会員全員による色々な疑問点に対して答えをお互いに披露し合う、いつもの形式の質疑応答に  
入り、あっという間に、時間過ぎた。



5時からは、5名だけの参加の新年会となった。



## 東京からの姿勢矯正士誕生！

12月9日(日)は姿勢矯正士養成スクールの日。

東京の荻窪から富樫晃知先生が参加され、和歌山からは米田先生がセミナーとして参加されました。



東京からの参加された富樫先生は今日で最終日のスクールとなったので、姿勢矯正士の認定証書を付与しました。

東京において、初めての「姿勢矯正士」が誕生！

まだまだ一人前の姿勢矯正士として納得出来るところまでは完全には教えきれていないが、ガッツに将来を期待したいと思う。

一応、東京支部の拠点として協力して頂く事にも了解して頂いた。

関東方面の姿勢矯正士拡大に期待したいと思います。

東京から深夜バス利用での受講であったが、遠距離の受講者にはもっといい教え方はないものか、もっと教え方には改良が必要かもしれない。

しかし疑問点には、ほぼ答えられたので、まずは及第点を与えたい。(自画自賛！)



同時に遠い和歌山から米田先生がセミナー参加され、二人ともすごく熱心でとても刺激的に教える事が出来ました。

富樫晃知先生のホームページ

とがし整体 Labo <http://www.tsl-seitai.com/>

## 11 月度姿勢矯正研究会

11月18日(日)10時～16時 日本姿勢矯正士協会本部にて

講義:「肋骨の可動域減少がもたらす各部位の影響について」西本 伸会長

臨床カンファレンス:「有痛性外脛骨」姿勢カイロ・オフィス 院長 辻内 正昭

出席者:西本会長、山口・七里・濱田・倉岡・東岡・矢田・久保上・河原・佐野・辻内の11名



(濱田先生、倉岡先生は早退のため写っていません)

今回は、西本会長が姿勢矯正の画期的な新しいテクニックを披露してくださいました。

これは西本会長の渾身作、肋骨のモビリゼーション&マッスルエナジーテクニック。  
名付けて西本式肋骨モビリゼーションテクニック。これまでとは発想が全く違い、肋骨をコントロールすることで、胸椎の彎曲も矯正するというコンセプト。参加者は西本会長の指導によって、互いに施術し合いながらテクニックを身につけていきました。治療の効率化と効果の持続性が期待できる素晴らしい新テクニックを伝授していただきました。



また、姿勢カイロ・オフィス辻内院長が小4 女児の疼痛性外脛骨についての臨床例問題提起しカンファレンスを実施しました。さまざまな角度からアプローチの提案や問題点の指摘があり非常に勉強になりました。

参加者の皆さん、西本式肋骨モビリゼーションテクニックを臨床に取り入れ、施術の効率化と効果的な施術を目指したいものですね！尚、このテクニックを臨床で使用した感想や意見などは西本会長までどしどし報告してください。

## ○9 月度姿勢矯正研究会

9 月 30 日(日) 10 時～16 時 日本姿勢矯正士協会本部にて

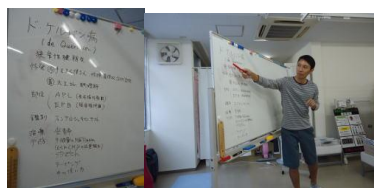
協議題

- 日本姿勢矯正士協会の会員資格について ■姿勢矯正研究会の参加資格について
  - 日本姿勢矯正士協会の会費の徴収方法について ■姿勢矯正研究会の会費の徴収方法について
- 臨床デモンストレーション

「妊婦さんのドケルバン病」の治療方法及びその効果(六甲アンカー整骨院 院長 濱田理先生)

研究課題

- モーションパルペーションのブラッシュアップ
  - 女性or小柄な人でもできるチェスタードロップの方法
- 5 名のオブザーバーを交え和やかに開始



濱田先生の講義



テーピング指導(濱田先生、西本先生)



女性や小柄な人ができるチェスタードロップ



フェイスアップ施術



正しい姿勢の概念



参加者：西本会長、山口、七里、濱田、滝本、藤尾、辻内、楽人からの生徒さんがオブザーバー参加 5 名の計12名

台風の中に行われた研究会でしたがいつもよりたくさんの参加者で盛り上がった研究会でした。

午前中は濱田先生よりドケルバン病 de Quervain (狭窄性腱鞘炎)について講義がありました。

好発 手をよく使う人 【今】妊婦・産後ママ・60代女性→ホルモンの関係でむくむのが原因 【昔】大工・調理師

部位：長母指外転筋・短母指伸筋鑑別：フィンケルシュタイン テスト(Finklestein's Test)治療：安静予防：手根骨のモビリゼーション(特に手根中手関節の位置補正)・ストレッチ・テーピング・手の使い方  
午後からは西本先生が楽人からの生徒さんを次々とチェスター・ドロップ及びフェイスアップ。会員はお互いにチェスタードロップの腕を磨きました。また膝を痛めていた濱田先生をみんなで仮説を立てながら治療するケーススタディや開業したての先生のお悩み相談室、近況報告など懇談等いつもながら盛りだくさんの内容でした。

参加者は熱心な先生方ばかりなので、ちょっと時間ができるとあっちこちで治療テクニックの練習を行ったり臨床での疑問点のぶつけ合いをしていました。今回も刺激的で楽しい研究会でした。あっという間の7時間。気が付けば終了予定時間が過ぎていました。

山口先生から議題の提案があり、正しい姿勢の確認やマーケティング(PR法)なども話し合いましたが、首・腰を倒した時に部位に掛かる負担(?kg)、正しい姿勢の時の頸椎前彎の角度(?度)などは時間切れの為次回に持ち越しました。

2012年7月22日(日)

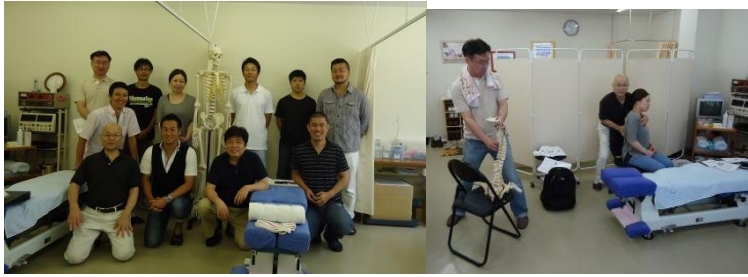
テーマ：「セルフメンテナンスの指導」「モーションパルペーション」

指導：西本 伸 先生(京都にしもと整体院院長、姿勢矯正士)

新しい指導法：3D Projective Instruction & Session Method(姿勢カイロ・オフィス院長辻内正昭、姿勢矯正士)

参加者：西本会長、山口、七里、濱田、東岡、倉岡、橋本、滝本、米田、矢田、辻内、11名の出席者。





3D Projective Instruction & Session Method  
のデモンストレーション(辻内)

### セルフメンテナンス指導



モーショントラクション復習



昼食も和やかに、賑やかに・・・。

### ブログ「楽人日記」より転載

昨日は、勉強会(姿勢矯正研究会)でした。今回はいつもより、たくさんの方が参加されていて、活気がありました！

その中で8月や9月に開業される方がいて、自分の事のように嬉しかったです。毎回、課題を考えて新しいテクニックなどを伝えてくださる辻内先生には、いつも教わる事が多く、とてもお世話になっています辻内先生が参加される様になり、この勉強会の幅が広がりました。勉強会に参加する事で、自分の実力に自信を持つ事ができます。

しかし、僕の先生のモーショントラクションの講習では、早くて的確な触診力に、改めて『すごい！』と感動しました

整骨院を営んでおられる浜田先生の知識も教わる事が多く、いつも貴重な勉強会になっています。その

他の先生や生徒さん達にも良い刺激を受けます！いつの間にか、現在の勉強会では、生徒として1番の古株になっていました。

いつも披露して頂く先生の手技に、僕は、解説くらいしかできないのですが、お世話になっている先生の生徒さん達に、少しでも役に立てればと思います僕は、この勉強会に参加できる限り、まだまだ成長できると思います！

自信を持って今日からの仕事もがんばれます。開業される生徒さん達へ伝えたい事は、『開業がゴールではない』という事。開業は、スタートですので、これからが大変なのです。迷う事があれば、遠慮なく周りの先生に相談してください。その為のグループなのですから。そして、この道でやっていこう！と、決めたのであれば、『喜ばれる喜び』をぜひ味わって頂きたい。この喜びが責任と、次の努力に繋がり、ますますこの仕事の良さがわかると思います。共に頑張ってください。

姿勢矯正士の独り言より転載

## 7月22日(日)に姿勢矯正研究会がありました。

姿勢矯正士の西本です。

7月22日(日)に姿勢矯正研究会がありました。

参加者は過去最多になりました。

参加者；山口先生・辻内先生・七里先生・濱田先生・米田先生・矢田先生・倉岡先生・橋本先生・東岡先生・滝本先生・西本の11名

今回から4名の新規の先生の参加がありました。

8月には、七里先生(Sona 整体院)・倉岡先生(滋賀くらおか整体院)・東岡先生(姿勢矯正専門整体院mint)が開業される予定です。

まずは自己紹介から始まる。

辻内先生から3D Projective Instruction & Session Methodについて説明がありました。

スクール生にとって、先生とのテクニック中のポジションなど姿勢の違いを写真やビデオによって確認する方法は非常に解り易く、相当の評価がありました。

橋本先生からは、念願の頭痛改善枕をバリで製作出来る見透しがつきましたので、注文の予約の確認して、見積もりに入って貰いました。

私からはセルフメンテナンスについて説明しました。

昼は1階のカフェレストラン・ヌーベルバーグで昼食を取りました。

午後から参加者の不調ポイントを各先生が治していく形で進んでいきました。

非常の難しい症例の先生もおられて、私は最高に頭を使いましたが何とか改善出来てほっとしています。

2012年5月20日(日)

テーマ:「モーションパルペーション」指導: 西本 伸 先生  
(京都にしもと整体院院長、姿勢矯正士)

臨床デモ:究極のストレッチの追求 (姿勢カイロ・オフィス院長辻内正昭、姿勢矯正士)

- ① 仰臥位での大腿二頭筋、梨状筋のストレッチ&アイソメトリック
- ② 腰椎の過前彎に対応できるモビリ(産後ママさんにも対応可能)

○協議題:

(1)緊張性の頭痛と偏頭痛の認識について。

(2)怒り肩で肩こりの場合の対処方法。

(3)脊柱のフィクセーションのアジャスト方法の指導について。

・蚤つぶしテクニック検査方法と股関節屈曲

・椎体関節へのアプローチ

(4)姿勢矯正士認定試験の合格ガイドラインについて。

参加者:西本会長、山口、金森、七里、濱田、東岡、橋本、辻内

今回は2名の参加者があり8名で実施。

午前中は予定された案件を論議し合い、午後からはデモンストレーションと西本先生がモーションパルペーションや新しいテクニックをご指導くださいました。

カンファレンスや臨床実習など内容も豊富。

参加する人数も増えてきて大変活気ある研究会となりました。



2012年3月11日(日)

テーマ:姿勢矯正に絶対不可欠な腰椎の過剰前彎の改善方法

参加者:西本会長、金森、七里、辻内

小臀筋・腸腰筋・大腿直筋 NEW ストレッチの指導:西本伸会長

力がいない胸鎖乳突筋・大腿二頭筋ストレッチ:辻内正昭

研究会の様子は西本先生のブログ「姿勢矯正士の独り言」から転載。

姿勢矯正士の西本です。昨日3月11日(日)定例の姿勢矯正研究会がありました。私の編み出した小臀筋・腸腰筋・大腿直筋 NEW ストレッチに会員の話題騒然。効クッ! 痛い! 簡単! 楽ッ! 軽い! こんな感じ?

姿勢矯正に絶対不可欠な腰椎の過剰前彎の改善。

私が編み出したテクニックの中でも、久しぶりの簡単でしかも力が要らず効果的なテクニックとっていい。脚が軽い! 腰が軽い! そんな簡単なストレッチになぜ気が付かなかったのだろうか? まだまだ姿勢矯正理論・姿勢矯正テクニックは不完全である。進歩しつつある。だから姿勢矯正士が必要であり、日本姿勢矯正士協会が必要となってくる。

今回の姿勢矯正研究会で一番感じた事は、姿勢矯正士はまだまだ進歩し続けるという事。その他にも股関節の外転不全に効果的なテクニックも披露しました。辻内先生からも悠テクニックの披露がありました。悠テクニックとは辻内先生の息子さんの辻内悠さんが編み出してテクニックです。

多くの頭があれば、多くのテクニックが編み出せる。姿勢矯正士

は、医療費削減の最大の武器になる！

2012年1月15日

・西本会長からはひどいネコ背に有効な新テクニックを伝授してくださいました。  
・臨床研究発表：辻内正昭  
「いわゆる50肩について」

50肩などの肩関節周辺の痛みに対する検査や施術方法のデモ&カンファレンス。

濱田先生からもより深い専門的な補足説明。素晴らしかった！



2011年11月13日

臨床実践報告 濱田理先生

「妊婦さん産後ママ治療に対する取り組み」について

- ・臨床例に対するカンファレンス
- ・臨床実習&お互いがケア整体
- ・西本先生よりフェイスアップ治療の最新バージョン披露

ママさん治療をする治療家をもっと増やし、多くのママさんたちが気軽に自分のカラダをケアできる環境を整えていくことも今後の課題





2011年7月10日

臨床研究発表: 辻内正昭

「股関節を内旋するとゴキゴキ音がすることについての考察」

・今回は西本先生の重点指導はモーションパルペーションの要諦について。

・お互いのケア整体&臨床実習

午後からは辻内が研究発表。股関節の骨頭と腸腰筋のメカニズムに迫る。また「回旋筋などの深部の筋へのアプローチ・テクニック」「手の指を痛めない前鋸筋へのアプローチ・テクニック」などの独自テクニックをデモ。



2011年5月22日

全ての姿勢矯正士の「技能の統一と資質の向上」を目指して開催されました。

今回からは西本会長自らが会員の不調を次々と治して下さりながら、質疑応答。またお互いがテクニックも披露し実習していきました。



2010年12月12日

テーマ:「ハイパー治療による姿勢矯正」

講師: 西本 伸 先生

(京都にしもと整体院院長、姿勢矯正士)

参加者: 理学療法士、整体師、エステシャン、柔道整復師他

・姿勢矯正士の西本先生が参加者からの質問に答える形式で実技デモを実施。

モーションパルペーションにより、動きすぎる関節と隣接する動きにくい関節をスクリーニングして、動きにくい関節だけを選



扱して動かすというハイパー治療のテクニックの極意を指導。(どんな質問にも実際にデモでその効果を示しながら納得させるという素晴らしい西本先生の技術力と知識が表れたセミナーでした。)

---